

新聞を毎日1時間以上読んで考える力を身につけよう

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：開倫塾では塾生に新聞を毎日1時間以上読むことを奨励していますが、なぜですか。

A：(林明夫。以下省略)新聞を毎日1時間以上読み、考える訓練を小学生・中学生・高校生のうちに積み重ねてほしいからです。つまり、訓練を積み重ねて「新聞を読んで考える力」を身につけてもらいたいのです。

Q：なぜですか。

A：塾生の皆様には、ものごとを自分の力で考える能力を身につけてもらいたいからです。

Q：なぜ新聞を毎日1時間以上読むと、ものごとを自分の力で考える訓練ができ、最終的にはその能力が身につくと塾長は考えるのですか。

A：ものごとを考えるには、できるだけいろいろな情報をもとにした方がいいと思います。自分が直接見たことや体験したこと、身近な人からお聞きしたことに基づいてものごとを考えることは大切なことですが、それに加えて世の中の動きを幅広く知った上で考えることも大切です。自分の住む市町村や県での出来事はもちろんのこと、日本や世界各地での動きを踏まえた上でものごとを考える方が、より幅広く、より深く考えられると私は思います。

毎日1時間以上新聞を読むのは、最初はちょっと辛いかも知れません。しかし、じっくり時間をかけて読めば読むほど、どのように世の中が動いているのかが少しずつ分かってきます。さらに世の中のしくみも分かってきますし、それらが抱える問題もだんだんはっきりしてきます。そこから、問題の本当の原因も推測できるようになります。そして、どうしたらよいかも自分の力で考えることができるようになります。

私は、新聞を毎日1時間以上読むことによって、塾生の皆様に自分でものごとを考えることができる人になってもらいたいと思います。

Q：新聞に書いてあることはすべて真実なのですか、すべて正しいことなのですか。

A：1つの記事を書くのは1人の記者で、それを編集するのは、分野や地域ごとの編集長であることが多いようです。記者の方々は、自分の良心に基づいての真実の報道を目指しておられます。そして、世の中の出来事を全て新聞に載せることはできませんので、記者の書いた記事に優先順位をつけるのが編集長の仕事です。

真実の報道・公正な報道を新聞社の方々は目指し、全力を傾けておられますが、後になって、正確さや公正さの点で問題が見つかることもあります。

Q：読者はどうしたらよいのですか。

A：最終的には、新聞の記事も、ものごとの見方の1つを示したものと考える以外はありません。そこで、週に1回は、学校や市町村の図書館で異なった新聞を読み、1つのことがらについての取り上げられ方の違いを知った上でものごとを考えるのもよい勉強になります。

Q：新聞を毎日1時間以上読むことは、学校の勉強や入学試験に役立つのですか。

A：新聞を1時間以上読むことは、教科書の半分以上の文章を読むことを意味しますから、全ての科目の基礎となる読解力が飛躍的に高まります。また、問題意識が高まり、なぜ勉強するのが明確になってきますので、学校や入試の勉強に弾みがつき、ターボエンジンがついたのと同じような状態になります。

開倫塾の塾生の皆様の大半は高校卒業後、上級の学校に進学なさると思いますが、その時、最も役に立つのが新聞を読んで考える力が身に付いていることです。頑張ってください。